日本キリスト教団 東金教会〔２〕

2020年1月12日 降誕節第３主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司奏	田村本上立田村
楽	藤中坂井足武岡
受付	〃 〃
案内	
名札	
礼拝祈祷	
感謝	
前奏	中村
讃美歌１	一同
使徒信条	566 〃
交読文１	司・会衆
主の祈り	564 一同
聖書朗読	藤田

ガラテヤ書5:7～15

祈祷	藤田
新聖歌	355 一同
み言葉の伝え	中村

〈惑わす者〉

讃美歌	280 一同
献金	
礼拝感謝	武田
〃 〃	岡村
報告	藤田
頌栄	541 一同
祝祷(派遣)	中村
後奏	新聖歌58 聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会１月１５日(水)１９:３０～
早天祈祷会月～金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会１月19日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会１月19日(日)10:25-10:30

【報告】

☆次週１月１９日、中村牧師は上総大原教会へ出張です。
☆１月の２６日は教会学校では「新年おたのしみ会」が持たれます。又、礼拝後は既報の通り朴　貞蓮牧師辞任の臨時総会が予定されております。従って第４週に予定されておりました教会清掃は中止とさせていただきます。（３月６日に幼稚園で実施します☆☆
☆１９日の第３週は婦人会・青年会・信交会が予定されております。

【定期長老会報告】

2019.11.3分続き
議事…①行事報告［(幼・保)2019.11.13 収穫感謝祭 12/7 保育園入園面接 12/13 幼・保クリスマス祝会 12/18 幼稚園クリスマス礼拝 12/20 幼稚園２学期終了式 ③承認事項 A.朴牧師の新任地交渉の件 B.朴牧師一時帰国(12/27～1/3)の件］

日時…2019.12.8 場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師 朴牧師 藤田 (書記) 井上 武田 森川
議事…①行事予定(教会)12.7山田台集会 12.21教会学校クリスマス祝会\12.22 教会クリスマス礼拝--説教・朴 貞蓮 クリスマス祝会--司会・森川 \12.24燭火礼拝--説教・中村征一郎\12.29説教・中村征一郎 12.31除夜祈祷会\2020.1.5新年礼拝\1.6支区常任委員会\1.7東総分区牧師会\1.19上総大原教会 中村 出張 以下継続

【臨時総会公告】

議題…朴牧師辞任の件
日時…2020.1.26礼拝後 場所…礼拝堂

【1月12日～1月18日誕生者】

○渡辺 姉 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(1/5	12	31	43
聖研祈祷会(1/8)			
聖書輪読会(1/5)	2	3	5
教会学校(1/5)	6	11	17
除夜祈祷会(12/31)	2	3	5

早天祈祷会			
日	男	女	計
1/6	1	1	2
7/7	1	1	2
1/8	1	1	2
1/9	1	1	2
1/10	1	1	2

主日礼拝献金(１/５)……１８,８００円
教会学校献金(１/５)……５,５５０円

【今日のメッセージ】

題 〈惑わす者〉
聖書
1・少しのパン種

2・主をたよりとして

3・主の自由の中で

【次週(1月１９日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈検索ではなく探索〉
聖書 ヨハネ福音書1:35～51
交読文２
讃美歌 １６７番 ９９番
新聖歌 ２０２番

【次週(1月１９日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	井
奏楽者	…	中
受付者	…	坂
案内者	…	安
名札当番	…	岡
礼拝感謝祈祷	…	森
〃 〃	…	薬 師
csお話し	…	岡
会堂清掃者	…	薬 師
〃 〃	…	
花係	…	猪
看板書き	…	澤

上村本延村川寺部寺野本

【聖書から】

「良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな」 イザヤ書四〇章九節

私たち教会に連なるものは如何なる存在か？ また私達が教会に属する者だ！ということをどれだけ自覚的にとらえているか？ これを正面切って問われた時、私達は何と答えるだろうか。戸惑うのが私達ではないか。その理由は教会に属すると告白することは私達がこの世に埋没してしまわない存在であると求められるからではないか。私達は市民的共感を得る事柄についてはこの世と価値を共有し、この世と同じ土俵に立つことができ、何の違和感もないことだからである。けれども教会に属するとはそういうことだけではない。否、教会に属するとは自己の本源的所属はこの世の諸価値と異質な所に属することを意味する。なぜならこの世の諸価値は人間の理性や経験、感覚を土台として構成された諸価値であり、それを超えた処から生み出される価値に対しては否定的判断しかしようがないからである。けれども教会が主張し、そこに属する私達に求められるのは神に属する諸価値を信じ告白することである。もとより私たちはこの世の諸価値に大なる影響を受ける者であり、その意味ではこの世に属するものであり、世の諸価値と関係なく生きる存在であるかのように振る舞うならばそれはこの世を超えた存在＝神に繋げられて生きる者であること、その告白を自覚的に言えないとしたら、それは厳しく言えば私達は神の民ではないということになる。私たちは他者からどう見えるかでなく、己自身を省み、自分が確かに聖書の神に従いたくご存在を信じているか、この聖書の神に思っているのか自己吟味する必要があるのである。信仰とは畢竟この告白ができるかどうかにかかっている。これさえできれば神は私たちを義としてくださる。この告白は一度限りすればよいものでなく、繰り返し繰り返し、日々に吟味し告白することが求められる。しなびた野菜のようでなく日々に瑞々しい命に生きる者として教会の民であることを告白をしたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。